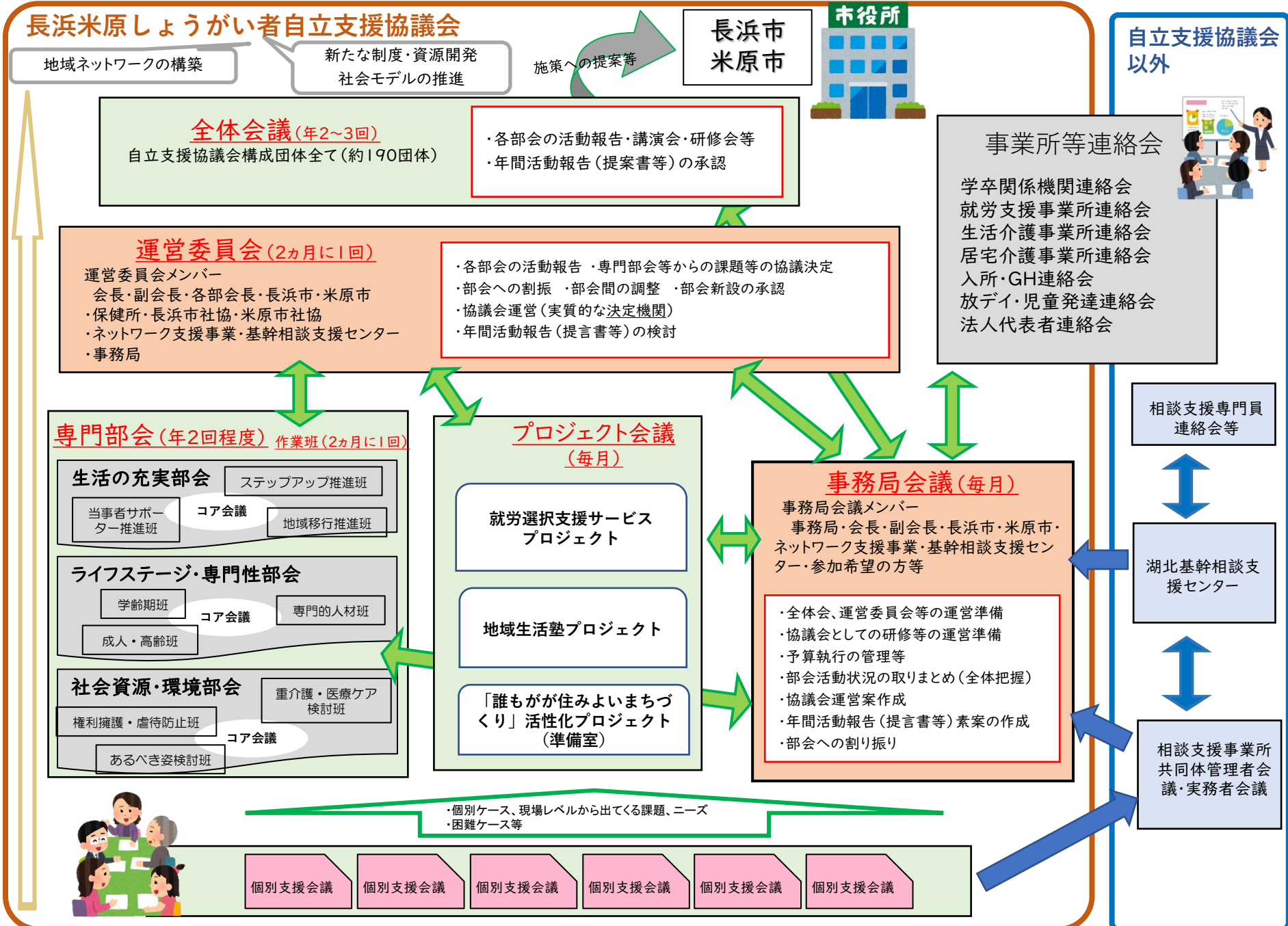


長浜米原しょうがい者自立支援協議会体制図 令和6年4月～



令和4年度

令和5年度

令和6年度

高い

関
心

低い

100人部会

新たな体制
(専門部会・プロジェクト会議)

事業所等連絡会

協議会アンケート調査

■今年度も継続して高い関心を持ってもらえるような取り組みを実施。
■必要に応じて作業班の再編も実施。

長浜米原しょうがい者自立支援協議会構成団体

■②③④の事業所の声を積極的にキャッチしに行く取り組みを検討

■令和6年度はこの部分へのアプローチが必要ではないか。

- 関心が低い理由はなにか？
- ①必要性がないと判断している
 - ②知らない
 - ③声が掛からない
 - ④関わる余裕がない
 - ⑤その他

■現時点で構成団体ではない団体等を新たに巻き込んでいくという取り組みも必要

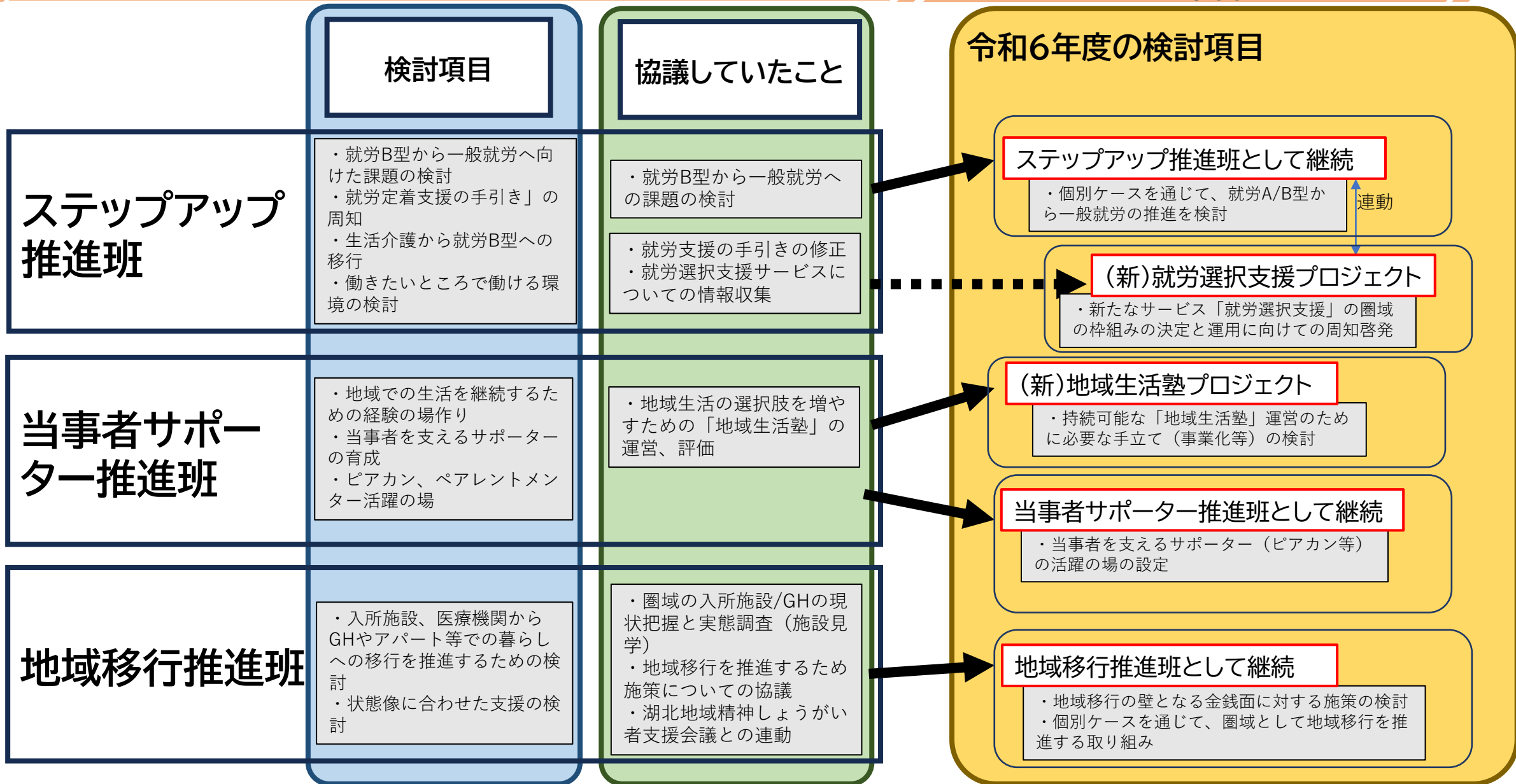
生活の充実部会

テーマ
【豊かな暮らし】

- ・就労・住居・地域移行・啓発
- ・災害感染症・余暇・体験
- ・在宅支援・権利擁護・家族の理解

R5年度

R6年度



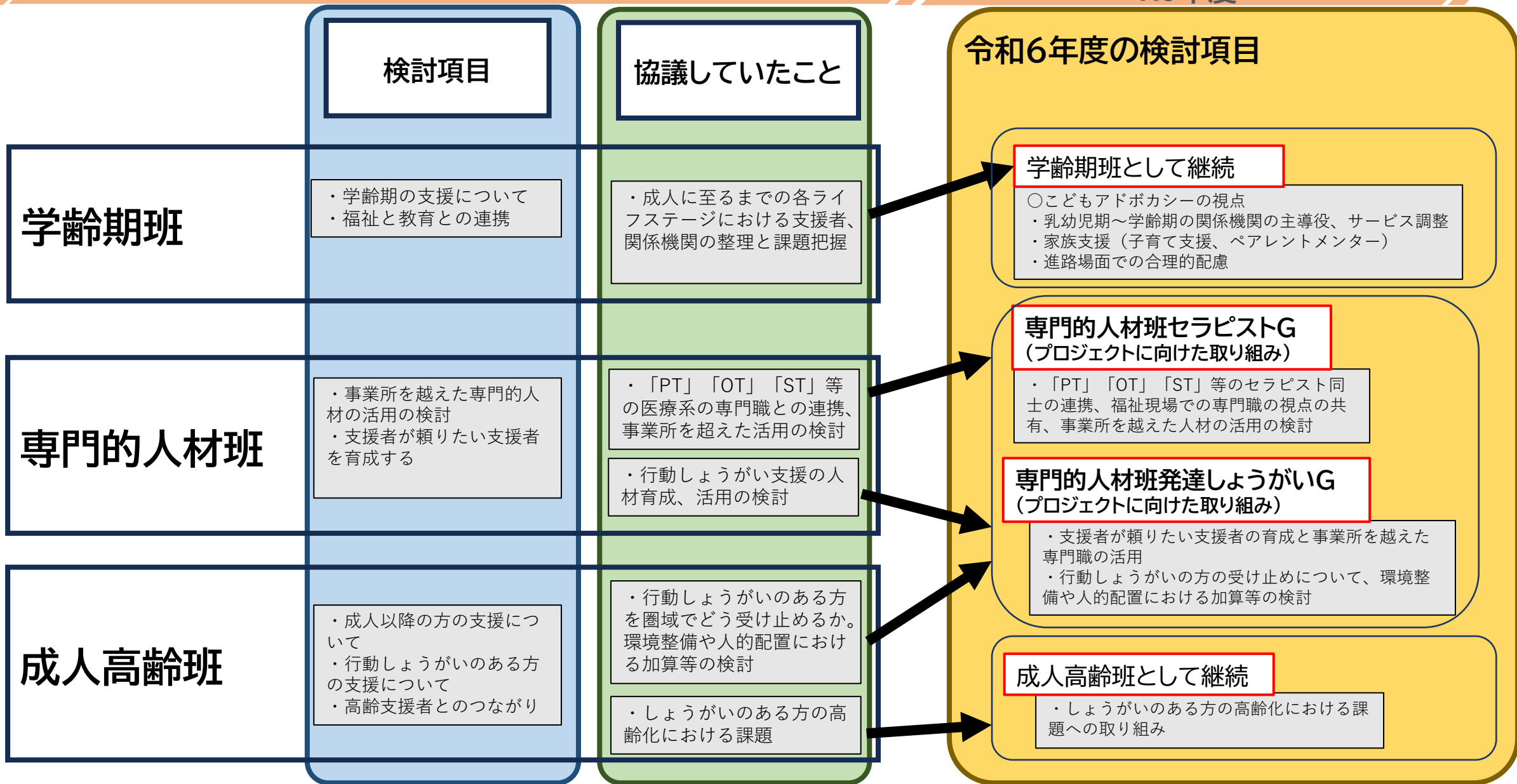
ライフステージ専門性部会

テーマ
【人・制度づくり】

・マンパワー・専門性・教育・家族支援
・連携・しょうがい特性・福祉サービス
・制度・介護給付・委託・相談支援・事業
所の環境・支給決定・児童・成人・高齢

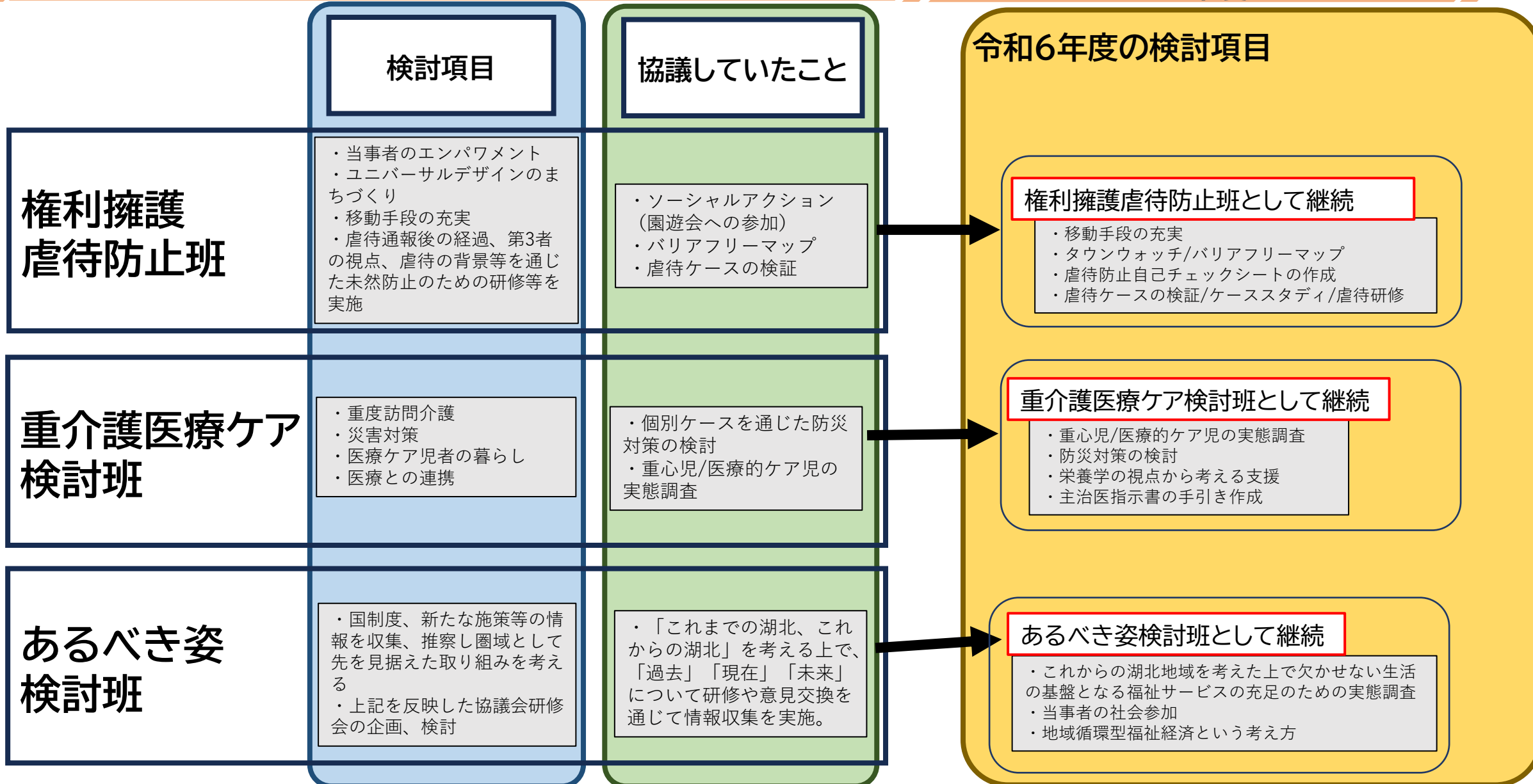
R5年度

R6年度



R5年度

R6年度



プロジェクト会議

就労選択支援サービスプロジェクト

令和7年10月より運用される新たなサービス「就労選択支援サービス」の圏域内の円滑な運用に向けて、関係機関がどのような役割を担っていくのか等の枠組みを決定し、圏域に周知を行う。

「地域生活塾」プロジェクト

当事者サポーター推進班で実施してきた「地域生活塾」の取り組みを圏域に必要な資源として位置づけし、今後も継続的に実施していくための手立て等を検討する。必要に応じ両市に対し事業化への提案等を行う。

「誰もが住みよいまちづくり」活性化プロジェクト(仮称)

令和7年度の活動開始に向けての準備期間とする

地域に住んでいるしょうがい当事者の方の社会参加の機会を増やすため、またしょうがい福祉に関する啓発活動を目的とし協議会としてイベントを開催、または、イベントへの参加の際の運営的中心を担う。

福祉サービス利用時の主治医指示書の手引き作成プロジェクト

重介護医療ケア検討班内で協議予定

(概要) 医療ケア児者が福祉事業所を利用するときに、主治医指示書が必要になることがある。現状では主治医指示書の提出は制度化されておらず、決まった書式がない。医療と福祉の連携強化も含め、圏域で一定のルールや書式の作成をおこなう。